

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 令和6年度 定時総会 議事録

日時：令和6年3月1日（金）16時00分～17時30分

会場：三宮研修センター7階 705号室+Web（Zoom Web会議）

現地参加者（敬称略）

- 代議員：網野 一真、飯田 遼、飯塚 雄次、市村 丈典、伊藤 剛貴、稲田 佑亮、井上 裕貴、岩本 義弘、植木 大介、上ノ段 友里、浮谷 聡、内山 将伸、梅原 健吾、大谷 俊裕、大橋 養賢、緒方 直美、岡本 勇二、小澤 有輝、金谷 法好、川澄 賢司、坂田 幸雄、佐藤 由美子、篠原 旭、鈴木 直哉、田中 亮、中山 季昭、畠山 智明、久田 健登、久松 大祐、藤田 行代志、古田 裕幸、本田 泰斗、本田 雅志、三星 勇輝、三宅 知宏、宮田 祥一、村上 明男、村上 通康
- 理事：近藤、大塚、松井、米村、青柳、内田（理事と代議員を兼任、以下「兼任」）、小井土（兼任）、櫻井（兼任）、清水（兼任）、下川、鈴木（真）、高橋、玉木、長久保、中澤、縄田（兼任）、野村、松尾（兼任）、村田（兼任）、山口（健）、山口（拓）
- 監事：加藤、堀越、山本
- 名誉会員：遠藤
- 総務：石原、佐々木、餅原、盛川
- 事務局（毎日学術フォーラム）：平坂、鈴木（政）

Web参加者（敬称略）

- 代議員：五十嵐 保陽、石森 雅人、市倉 大輔、衛藤 智章、柿本 秀樹、香取 哲哉、川上 和宜、小枝 伸行、小林 一男、鈴木 毅、高田 慎也、辻 大樹、長沼 未加、野村 充俊、橋本 幸輝、長谷川 英利、村田 志帆、山田 早
- 理事：青柳

欠席者（敬称略）

- 代議員：有馬 純子、池末 裕明、伊與田 友和、太田 貴洋、組橋 由記、櫻下 弘志、佐藤 淳也、寺菌 英之、文 靖子、吉田 幹宜、山口 俊司
- 理事：小笠原、河添（兼任）、中島

1. 開会の辞

米村副理事長より開会挨拶が行われた。

2. 理事長挨拶

近藤理事長より挨拶が行われた。

3. 議案審議

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会の定時総会に先立ち、進行役の高橋総務委員長より代議員総数75名のうち68名の出席があり、本総会は定款第17条の定足数を満たしており、成立している旨が報告された。

議長・副議長選出

本総会における議長・副議長の選出を行い、議長に本田泰斗氏、副議長に浮谷聡氏が選出された。

4. 協議事項

第1号議案：令和5年度事業報告 および 第2号議案：令和5年度決算報告・監査報告

令和5年度における学会全体の活動および総務、財務、教育研修、地域医療連携、メーリングリスト運営、広報出版、臨床研究、認定制度、会員、会誌編集、渉外、利益相反、ガイドライン、実地研修の各委員会事業ならびにWebセミナー検討、かかりつけ薬剤師・薬局のがん薬物療法に関する業務指針、免疫チェックポイント阻害薬マネジメント教育プログラム開発、専門性の高い薬局薬剤師の養成推進、がんゲノム医療、ISOPP Standards 翻訳、認定取得者のための支援体制整備検討の各ワーキンググループの活動について、鈴木（賢）副理事長および各委員会・ワーキンググループ委員長または担当副理事長から報告された。

山口（健）財務委員長より、令和5年度決算が報告された。収支報告書（令和5年1月1日～同年12月31日）、貸借対照表（令和5年12月31日現在）、損益計算書（令和5年1月1日～同年12月31日）、販売費および一般管理費内訳書（令和5年1月1日～同年12月31日）について、配布された決算報告書に従い報告された。

加藤監事より令和5年度における会計の帳簿や書類、通帳等を令和6年2月3日に監査し、全て適法かつ的確に執行されたことを確認したと報告された。

本田議長より、定款第17条により、令和5年度事業報告および令和5年度決算報告の両議案の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行うと定められている旨が説明された。総会に出席の68名の代議員の表決を取り、賛成多数（賛成68名）をもって第1号議案および第2号議案は一括して承認された。

第3号議案：定款の変更役員の選任

高橋総務委員長より、日本臨床腫瘍薬学会の定款第5章役員の項において、理事長の再選について特に規定はないが、理事長の再選に関して規定している学会が複数あることなどを踏まえ、令和5年度の理事会において「理事長は連続2回を超えて再選することはできない。」との文章を追記する改正案を提案され、承認されていることが説明された。

本田議長より、定款第17条により、定款の変更に関する決議は、総代議員の半数以上であって総代議員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行うものと定められている旨が説明された。総会に出席の68名の代議員の表決を取り、総代議員の議決権の3分の2以上となる賛成多数（賛成68名）をもって第3号議案は承認された。

第4号議案：令和6・7年度理事・監事の選任

福田役員選任管理会幹事長より、令和6・7年度理事・監事の選任について、資格審査の報告、定款第9条第2項に基づき理事候補者の選任選挙および第9条第1項に基づき監事候補者の信任投票を行った旨が説明された。代議員の浮谷聡氏を第三者立会人として開票を行い、理事25名、監事3名が令和6・7年度役員として選任された旨が配布資料に従い報告された。

本田議長より、定款第 17 条により、令和 5 年度事業報告および令和 5 年度決算報告の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行うと定められている旨が説明された。総会に出席の 68 名の代議員の表決を取り、賛成多数（賛成 68 名）をもって第 4 号議案は承認された。

5. 報告事項

1) 令和 6 年度事業計画

松井副理事長より、報告事項 1)、2)については、定款第 40 条および同 41 条に基づき、令和 6 年度開始の前日である令和 5 年 12 月 31 日までに理事長が作成し、令和 6 年 2 月 10 日の理事会決議を経て、本日の総会報告に至っていることが事前に説明され、令和 6 年度事業計画が配布資料に従い報告された。

2) 令和 6 年度事業予算

山口（健）財務委員長より、令和 6 年度事業予算が配布資料に従い報告された。

3) 外来がん治療認定薬剤師認定結果

外来がん治療認定薬剤師更新状況

外来がん治療専門薬剤師認定結果

櫻井認定制度委員長より、外来がん治療認定薬剤師認定結果、外来がん治療認定薬剤師更新状況、外来がん治療専門薬剤師認定結果が報告された。

はじめに、新規の外来がん治療認定薬剤師として認定を受けたのは 265 名であったと報告された。次に、外来がん治療認定薬剤師更新者は 364 名となる見込みが報告された。最後に、外来がん治療専門薬剤師は令和 5 年度より認定審査を年 4 回実施し、332 名が承認された旨が報告された。令和 6 年度は 6 回実施する旨が報告された。

4) 学術大会の予定

近藤理事長より、配布資料に従い、学術大会 2023（第 12 回）の参加者数が 4,804 名であったこと、令和 5 年度定時総会において報告しているとおり、学術大会 2024（第 13 回）が令和 6 年 3 月 2 日～3 日に神戸国際展示場、学術大会 2025（第 14 回）が令和 7 年 3 月 15 日～16 日にパシフィコ横浜ノース、学術大会 2026（第 15 回）が令和 8 年 3 月 7 日～8 日に福岡国際会議場で開催される予定であることが報告された。

また運営規則第 5 条第 3 項に基づき、学術大会 2027（第 16 回）の大会長として、鈴木賢一氏（東京薬科大学）を選任し、同規則第 5 条第 4 項に基づき、実行委員長は清水久範氏（公益財団法人がん研究会有明病院）に委嘱していると報告された。本会の会場は未定であるが令和 9 年 3 月頃に開催予定と報告された。

6. 学術大会 2024 大会長・実行委員長挨拶

学術大会 2024 牧野好倫会長、藤堂真紀実行委員長より挨拶が行われた。

7. 閉会の辞

松井副理事長より閉会の挨拶が行われた。

以上をもって本日の議事を終了し、閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席理事がこれに記名・押印する。

令和6年 3月 1日
一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会定時総会

議長	本田 泰斗
副議長	浮谷 聡
理事長	近藤 直樹
副理事長	大塚 昌孝
同	鈴木 賢一
同	松井 礼子
同	米村 雅人
理事	青柳 吉博
同	内田 まやこ
同	小井土 啓一
同	櫻井 洋臣
同	清水 久範
同	下川 友香理
同	鈴木 真也
同	高橋 郷
同	玉木 慎也
同	長久保 久仁子
同	中澤 寛仁
同	縄田 修一
同	野村 久祥
同	松尾 宏一
同	村田 勇人
同	山口 健太郎
同	山口 拓洋

(以下余白)

